

登録コード	TSC25500	開講年度	2026				
授業科目	化粧品科学特論					担当教員	酒井 俊郎
英文授業名	Cosmetic Science					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・2 時限		対象学生
講義室	工W5-21教室			授業形態	講義	備考	物質化学科 1 年生
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観		
	【専攻】環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力		
(2)授業の概要	この授業では，化粧品・医薬品の基礎的事項，化粧品・医薬品の法規制、製剤設計などについて理解を深めると共に，修士論文研究の工業分野への応用，環境技術としての応用等についてゼミナール形式の授業を実施する。						
(3)授業計画	下記のように講義とゼミナールを実施する。 第 1 回（4/9）：講義：界面活性剤の基礎（酒井俊郎） 第 2 回（4/16）：講義：乳化の基礎（酒井俊郎） 第 3 回（4/23）：講義：乳化剤フリー乳化（酒井俊郎） 第 4 回（5/7）：講義：洗顔料、クレンジングの製剤化技術（紺野義一客員教授：コーサー） 第 5 回（5/14）：講義：日やけ止めの周辺環境と製剤化技術（紺野義一客員教授：コーサー） 第 6 回（5/21）：講義：リン脂質から形成される分子集合体の化粧品への応用（紺野義一客員教授：コーサー） 第 7 回（5/28）：ゼミナール：学生プレゼンテーション（紺野義一客員教授：コーサー） 第 8 回（6/4）：講義：エアゾールの基礎（湯本賢也特任助教：東洋エアゾール工業） 第 9 回（6/11）：講義： エアゾールの内溶液開発・設計（湯本賢也特任助教：東洋エアゾール工業） 第 1 0 回（6/18）：講義：エアゾールの新たな展開～エマルション型エアゾール原液の開発を目指して～（湯本賢也特任助教：東洋エアゾール工業） 第 1 1 回（6/25）：ゼミナール：学生プレゼンテーション（湯本賢也特任助教：東洋エアゾール工業） 第 1 2 回（7/2）：講義：医療用医薬品の開発（長濱徹客員教授：ロート製薬） 第 1 3 回（7/9）：講義：一般用医薬品の開発（長濱徹客員教授：ロート製薬） 第 1 4 回（7/16）：講義：医薬部外品・化粧品の開発（長濱徹客員教授：ロート製薬） 第 1 5 回（7/23）：ゼミナール：学生プレゼンテーション（長濱徹客員教授：ロート製薬）						
(4)成績評価の方法	講義に対するレポート（6点x10回＝60点）、プレゼンテーション（10点x4回＝40点）により成績を評価します。評価は，秀(S):90 - 100点，優(A)：80 - 89点，良(B)：70 - 79点，可(C)：60 - 69点，不可(D)：59点以下とします。出欠は出席確認システムで確認すると同時に講義開始時に教員が確認する。						
(5)成績評価の基準	評定については、次の評価基準を基本としている。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している。 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある。 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある。 可：授業の達成目標の水準にある。 不可（D）：授業の達成目標の水準よりやや下にある。 不可（F）：授業の達成目標の水準にない。 (i)課題の目的が十分理解できており、(ii)その課題を適切な資料を用いて調査できており、(iii)その調査結果を簡潔かつ適切にまとめることできており、(iv)それらの調査結果から当該分野における問題点や課題などが指摘されており、(v)その上で自分の見解を提示できており、かつ、(vi)教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i)から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	事前調査、プレゼンテーション資料の作成、課題に対するコメントへの対応						
(7)履修上の注意	自身の修士論文研究のテーマをパワーポイントを用いて 5 分間のプレゼンテーションにまとめて計 4 回プレゼンテーションする。毎回ごとにプレゼンテーションを工夫してプレゼンテーション資料をアップデートすること。 教科書は使用しません。また、講演会やセミナーを授業に振り替えることがありますので、出席してください。その場合には、掲示、メールなどで連絡します。						
(8)質問、相談への対応	主として授業終了後に質問や相談を受け付ける。質問、相談には時間の許す限り応じる。メールにより、事前に連絡をとり、来室することが好ましい。 場所：物質化学科南棟（W8）3階308号室 メールアドレス：tsakai@shinshu-u.ac.jp						
(9)その他	なし						
【教科書】	使用しません。						
【参考書】	鈴木四朗・近藤保共著「入門コロイドと界面の科学」三共出版						